

令和3年10月21日

## 民生環境常任委員協議会会議概要

委員長 村川みどり

副委員長 澁谷洋子

1 開催日時 令和3年10月21日（木曜日）午前9時58分～午前10時14分

2 開催場所 第1・2委員会室

### 3 報告事項

(1)「青森市公立病院改革プラン2016－2020点検・評価報告(令和2年度実績)」  
の公表について

#### ○出席委員

委員長 村川みどり  
副委員長 澁谷洋子  
委員 赤平勇人  
委員 奈良祥孝  
委員 中村節雄

委員 小豆畑 緑  
委員 渡部 伸 広  
委員 木戸 喜美男  
委員 花田 明 仁

#### ○欠席委員

なし

#### ○説明のため出席した者の職氏名

環境部長 高村 功 輝  
福祉部長 福井 直 文  
市民病院事務局長 岸田 耕 司  
環境部次長 奥崎 文 昭  
福祉部次長 三浦 裕 子

市民病院事務局次長 長 内 哲 史  
保健予防課長 柴 田 一 史  
市民病院事務局総務課長 阿 部 崇  
関係課長等

#### ○事務局出席職員氏名

議事調査課主事 高 木 涉

議事調査課主事 北 山 賢 臣

**○村川みどり委員長** ただいまから、民生環境常任委員協議会を開会いたします。本日は、保健部長が所用のため欠席となります。

それでは、本日の案件に入ります。

「青森市公立病院改革プラン 2016－2020 点検・評価報告（令和2年度実績）の公表について」報告を求めます。市民病院事務局長。

**○岸田耕司市民病院事務局長** 「青森市公立病院改革プラン 2016－2020 点検・評価報告（令和2年度実績）の公表について、御説明いたします。

平成29年5月に策定した「青森市公立病院改革プラン 2016－2020」につきましては、毎年、点検・評価することとしており、お配りした資料は、令和2年度決算を踏まえ、病院として改革プランに掲げた内容を点検・評価したものです。本常任委員協議会後にホームページで公表することとしております。

その概要ですが、1ページを御覧ください。

点検・評価についての趣旨等を記載しておりますが、点検・評価の前提として、後段のなお書きにあります。改革プランに掲げた令和2年度の計画値は、平成29年度5月時点の病床数及び平成28年度決算見込値を基礎数値として設定したものである旨を記載しております。

2ページを御覧ください。

市民病院になりますが、「2 令和2年度の主な取組と決算概況」として、「令和2年度の主な経営改善の取組」及び「(2) 決算の概況」を記載した上で、「3 改革プランの計画値と令和2年度実績との比較」では、4ページの「収入」、「支出」、「損益、資金不足」の計画と実績について説明しております。

4ページの「収入」の表を御覧ください。

アの入院に関しては、病床利用率は、許可病床を基準としており、計画値が538床、実績値が459床で計算しておりますが、延べ患者数が新型コロナウイルス感染症の影響等に伴い減少したことにより、病床利用率は計画値を下回り、入院収益についても、診療単価が計画値を上回ったものの、延べ患者数の減少により計画値を下回ったところではあります。

なお、参考ですが、1病棟を感染症病棟に転用し、感染症病床を確保したことに伴う3月31日時点の稼働病床364床ベースで換算した場合の病床利用率は71.5%となり、計画値を上回っているところではあります。

イの外来に関しても、診療単価は、計画値を上回ったものの新型コロナウイルス感染症の影響により、延べ患者数は計画値を下回り、外来収益については、計画値を下回ったものです。

結果、経常収益は、計画値を約10億5000万円下回り、「支出」については、経常費用が、計画値を約10億4000万円下回ったところではあります。

「損益、資金不足」については、経常損益は約2000万円の経常損失となり、計画値を約500万円下回ったものの、特別利益・損失を加えた純損益は、約8500万

円の純利益となり、計画値を約1億円上回ったところです。

なお、地方財政の健全化に関する法律に基づく資金不足額は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う医業収益の大幅な減収を補填するための特別減収対策企業債約4億円を発行した影響等から、約10億7000万円と前年度より減少したものの、計画値を約4億9000万円上回っており、また、特別減収対策企業債残高を含む地方財政法による資金不足額は、約14億8000万円となり、前年度より減少したものの、計画値を約9億円上回っております。

次に、「(Ⅰ) 医療機能等指標に係る数値目標」及び5ページの「(Ⅱ) 経営指標に係る数値目標」の計画と実績との比較については、紹介率、逆紹介率、経費削減に係るものなど一部計画値を上回った項目があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、経営成績を示す経常収支比率、医業収支比率などの指標は計画値を下回っております。

6ページから11ページまでは、数値目標が設定されているものは、取組があっても、あくまでも数値目標に対し、達成または未達成としており、数値目標が設定されていないものは、取組をもって達成としているものです。

次に、12ページを御覧ください。

浪岡病院になりますが、浪岡病院についても、「4 令和2年度の主な取組と決算概況」として、「令和2年度の主な経営改善の取組」及び「(2) 決算の概況」を記載した上で、「5 改革プランの計画値と令和2年度実績との比較」では、13、14ページの「収入」、「支出」、「損益、資金不足」の計画と実績について説明しております。

13ページ下段の「収入」の表を御覧ください。

浪岡病院の計画値が精神神経科病床を含んだ199床、実績値は現在の許可病床35床を基準としたものでありますことから、アの入院に関しては、延べ患者数は計画値を下回っているものの、病床利用率は計画値を上回っております。診療単価は計画値を上回っておりますが、入院収益は計画値を下回ったところです。

イの外來に関しては、診療単価は計画値を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、延べ患者数は計画値を下回り、外來収益についても、計画値を下回ったところです。

結果、経常収益は計画値を約4億7000万円下回り、また、14ページの「支出」については、経常費用が計画値を約1億6000万円下回ったところです。

「損益、資金不足」については、経常損益は約2億9000万円の経常損失となり、計画値を約3億円下回り、特別利益・損失を加えた純損益は約8200万円の純損失となり、計画値を約1億円下回ったところです。

なお、地方財政の健全化に関する法律に基づく資金不足額は、令和元年度に過去の累積資金不足額を解消するための基準外繰出金を措置したことや特別減収対策企業債約6100万円を発行したことから、計画値約6億円に対し、資金不足額は生

じておらず、また、特別減収対策企業債残高を含む地方財政法による資金不足額は、約 400 万円となったところです。

次に、「(Ⅰ) 医療機能等指標に係る数値目標」及び「(Ⅱ) 経営指標に係る数値目標」の計画と実績との比較については、紹介率、逆紹介率、訪問看護件数など、一部計画値を上回った項目があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、経営成績を表す経常収支比率、医業収支比率などの指標は計画値を下回っております。

16 ページから 19 ページまでは、数値目標が設定されているものは、取組内容等があっても、数値目標に対し、達成または未達成としており、数値目標が設定されていないものは、取組をもって達成としているものです。

次に、20 ページを御覧ください。

6 から 8 までは、改革プランに取り込んだ地域医療構想を踏まえた役割について、記載したものです。6 では、「地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割」について、7 では、「再編・ネットワーク化」について、8 では、「経営形態の見直し」についての考え方などを記載しています。

「8 経営形態の見直し」については、これまで、民間的経営手法の導入を図る観点から、地方公営企業法の全部適用や地方独立行政法人への移行等の経営形態の見直しについては、両病院が自立した経営を行える目処が立った段階で検討することとしておりましたが、令和 3 年 4 月、外部有識者等で構成する県立中央病院と青森市民病院のあり方検討協議会を設置した旨を記載しております。

21 ページでは、「9 自己評価」として、今回のコロナ禍においては、医業収益に大きなマイナス影響となり、コロナ関係補助金の増等により、経常収益上は補てんされ、純利益計上となったものの、補助金は臨時的なものであり、更なる経営改善を進めていく必要があるとし、「10 令和 3 年度の主な取組」では、今年度の市民病院、浪岡病院それぞれの取組を記載しております。

市民病院、浪岡病院とも、依然として厳しい経営状況にあることを認識し、将来収支を見据えた経営改善方策を検討しながら、引き続き、経営改善に取り組んでまいりたいと考えております。

説明は以上であります。

**○村川みどり委員長** ただいまの報告について、御質疑、御意見等ありませんか。赤平委員。

**○赤平勇人委員** 6 ページのところに、医師数と看護職員数の計画値と令和 2 年度実績が載っていますが、令和 2 年度実績で、看護職員数が 340 人になっていますが、この中で、会計年度任用職員の内訳は分かりますか。

**○村川みどり委員長** 市民病院事務局長。

**○岸田耕司市民病院事務局長** ちょっとお待ちください。（「詳しい人に」と呼ぶ者あり）すみません、そうすれば総務課長から。

○村川みどり委員長 では、市民病院事務局総務課長。

○阿部崇市民病院事務局総務課長 すみません、総務課の阿部と申します。

看護職員数ですが、こちらの数字は計画、実績ともに、正職員のみとなっておりますので、会計年度任用職員は入っておりません。

○村川みどり委員長 赤平委員。

○赤平勇人委員 分かりました。そうすると、ここに入っていないなくても、現在の会計年度任用職員数は示せますか。

○村川みどり委員長 市民病院事務局総務課長。

○阿部崇市民病院事務局総務課長 看護師の会計年度任用職員の数ですけれども、令和3年3月31日現在で31名となっております。

○村川みどり委員長 赤平委員。

○赤平勇人委員 31名のうち、フルタイムとパートタイムの割合は分かれますか。

○村川みどり委員長 市民病院事務局総務課長。

○阿部崇市民病院事務局総務課長 フルタイムの会計年度任用職員が31名中7名、残りの方、24名がパートタイムということになっております。

○村川みどり委員長 赤平委員。

○赤平勇人委員 分かりました。後でもいいので、職員の会計年度任用職員を含めた、いわゆる非正規職員の推移をちょっと後でもお知らせいただきたいなと思うんです。職員全体の数もそうなんですけれども、その中の状況がどうなっているのかというの、ちょっと知りたいなというふうに思っていますので、よろしく願いします。

それで、やはり看護職員数もそうなんですけれども、質の問題もすごく今、問われていると思うので、数だけではなくて、引き続き、待遇も含めた質の部分も、ぜひ向上していくように、努力していただきたいなというふうに思います。

以上です。

○村川みどり委員長 ほかに発言ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○村川みどり委員長 なければ、質疑はこれにて終了いたします。

この際、ほかに理事者側から報告事項などありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○村川みどり委員長 また、委員の皆さんから、御意見等ございませんか。奈良委員。

○奈良祥孝委員 病院の関係ですけれども、以前にも村川委員長も発言しております。手前どもの工藤健議員も言っていますが、病院におけるWi-Fi状況のその後の検討状況はどうなっているか、お示してください。

○村川みどり委員長 市民病院事務局長。

○岸田耕司市民病院事務局長 Wi-Fiについて、9月の議会のほうでも答弁し

たとおり、今現在においては、ほかの病院も含めて調査しているのと、あと、どういった形でやったほうがベターなのかというのを今検討しているところです。今後、それについては、もうちょっと時間をいただきたいと思っております。検討はしております。

**○村川みどり委員長** 奈良委員、いいですか。

**○奈良祥孝委員** はい。

**○村川みどり委員長** ほかに、委員の皆さんから御意見等ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○村川みどり委員長** 以上をもって、本日の案件は全て終了いたしました。

これにて、本日の協議会を閉会いたします。

**( 会 議 終 了 )**